

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 S K K

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業 専門課程	高度 I T 学科	夜・通信	33 単位	13 単位	
	I T エキスパート学科 I T スペシャルエンジニアコース (I T エンジニアコース)	夜・通信	90 単位	10 単位	
	I T エキスパート学科 Web&動画クリエイターコース (デジタルクリエイターコース)	夜・通信	104 単位	10 単位	
商業実務 専門課程	総合ビジネス学科 登録販売者コース	夜・通信	70 単位	7 単位	
	総合ビジネス学科 医療事務&メディカルスタッフ コース	夜・通信	65 単位	7 単位	
	総合ビジネス学科 オフィス・サービスコース ホテル・ブライダル専攻	夜・通信	31 単位	7 単位	
	総合ビジネス学科 オフィス・サービスコース 販売・営業専攻	夜・通信	66 単位	7 単位	
	総合ビジネス学科 オフィス・サービスコース 総務事務専攻	夜・通信	31 単位	7 単位	
	公務員学科 2 年制コース	夜・通信	76 単位	7 単位	
	公務員学科 1 年制コース	夜・通信	- 単位	4 単位	
(備考) ・2026 年度 「高度 I T 学科」新設。2 年転科生あり。 ・2025 年度 「I T エキスパート学科 I T スペシャリストコース」から 「I T エキスパート学科 I T エンジニアコース」にコース名変更。 ・2025 年度 「I T エキスパート学科 Web&動画クリエイターコース」から 「I T エキスパート学科 デジタルクリエイターコース」にコース名変更。 ・2026 年度 「総合ビジネス学科オフィス・サービスコース ホテル・ブライダル専攻」 1 年生在籍無し ・2026 年度 「総合ビジネス学科オフィス・サービスコース 販売営業専攻・総務事務専攻」 2 コースを「販売・総務事務専攻」と合併 ・2026 年度 「公務員学科 1 年制コース」入学生無し					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページに掲載 https://net-skk.co.jp/inforelease/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 S K K

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページに掲載 https://net-skk.co.jp/inforelease/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理美容業務用品総合卸業 代表取締役会長兼社長	2025. 6. 3～ 2027. 6. 2	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	社会福祉法人 理事長	2025. 6. 3～ 2027. 6. 2	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	建物清掃業、警備業、 一般廃棄物収集運搬業 代表取締役社長	2025. 6. 3～ 2027. 6. 2	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	食品関連卸売業、小売業 代表取締役社長 商工会議所副会頭	2025. 6. 3～ 2027. 6. 2	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	美容業 代表取締役 美容組合 前理事長	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	教育コンサルティング会社 役員	2025. 6. 3～ 2027. 6. 2	学校経営のための 意見・アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 S K K

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成 (2) 2月までに次年度カリキュラムを確定 (3) 4月下旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成 (4) 5月末までに授業計画書をホームページへ掲載	
授業計画書の公表方法	https://net-skk.co.jp/inforelease/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 (1) 成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の5段階とし、「可」以上を合格とする (2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、定期試験、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する (3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。			
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)			
成績の評価は秀・優・良・可・不可の5段階とし、その評価基準は次のとおりとする。			
評価	判定	基 準	G P A
秀	合 格	教科に対する理解および日常の授業態度が他の模範となる優秀な者 (目安：定期試験90点以上、且つ教科の出席率90%以上)	4
優	合 格	教科に対する理解および日常の授業態度が著しく優秀な者 (目安：定期試験80点以上、且つ教科の出席率85%以上)	3
良	合 格	教科に対する理解および日常の授業態度が良好な者 (目安：定期試験60～79点、且つ教科の出席率85%以上)	2
可	合 格	教科に対する理解および日常の授業態度が妥当と認められた者 (目安：再試験・追試験60点以上、且つ教科の出席率85%以上)	1
不可	不合格	合格と認められるに足る教科理解と授業態度を示さなかった者 (目安：追試60点未満、または教科の出席率85%未満)	0

この表のGPAを基準に成績分布状況を把握する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://net-skk.co.jp/inforelease/
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。				
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)				
各修業年限・学科において、以下の卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。				
卒業に必要な単位数				
学年	1年制	2年制	3年制	4年制
単位数	31単位	62単位	93単位	124単位

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://net-skk.co.jp/inforelease/
------------------	---

様式第 2 号の 4－② 【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 S K K

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://net-skk.co.jp/inforelease/
収支計算書又は損益計算書	https://net-skk.co.jp/inforelease/
財産目録	https://net-skk.co.jp/inforelease/
事業報告書	https://net-skk.co.jp/inforelease/
監事による監査報告（書）	https://net-skk.co.jp/inforelease/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業分野		工業専門課程	高度 I T 学科			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間	2294 (64) 単位時間/単位	892(35) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間/ 単位	0(0) 単位時間 /単位	1402(29) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		5 人	0 人	5 人	4 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 〈授業方法及び内容〉 大学の幅広い教養・経営・デジタルスキルと、専門学校の専門的で高度な IT 技術科目を併修する。AI などの最新の情報技術を駆使するエンジニアを目指す。 〈授業計画〉 （１）１２月末までに次年度カリキュラム案を完成 （２）２月までに次年度カリキュラムを確定 （３）４月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 （４）５月末までに授業計画書をホームページに掲載
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 （１）成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の５段階とし「可」以上を合格とする。 （２）成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 （３）科目の出席率が 85%未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。
学修支援等
（概要） （１）各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 （２）専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 （３）実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） データサイエンティスト、ソフトウェア技術者			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2026年度新設により実績無し			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業分野		工業専門課程	I Tエキスパート学科 I Tエンジニアコース (I Tスペシャルエンジニアコース)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2857 (102) 単位時間/単位	1267(56) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間 /単位	6(0) 単位時間/ 単位	0(0) 単位時間 /単位	1584(46) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		29 人	0 人	7 人	3 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ＜授業方法及び内容＞ 業務アプリケーション開発、Web システム開発、機械制御システム開発担当者を目指す。システム開発に必要な基礎知識と、ネットワークやセキュリティ、Web プログラミングに関する知識と技術、資格取得を行う。 ＜授業計画＞ (1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成 (2) 2月までに次年度カリキュラムを確定 (3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 (4) 5月末までに授業計画書をホームページに掲載	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 (1) 成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の5段階とし「可」以上を合格とする。 (2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 (3) 科目の出席率が85%未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。	
学修支援等	
（概要） (1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 (2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 (3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	16 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） システムエンジニア			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験 ４名 Python プログラミング能力認定試験 １級 １名 C 言語プログラミング能力認定試験 ２級 １名 Java プログラミング能力認定試験 ２級 Web クリエイター能力認定試験 エキスパート ４名 Excel 表計算処理技能検定 １級 １名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	3 人	6%
（中途退学の主な理由） 進路変更 病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	IT エキスパート学科 Web&動画クリエイターコース (デジタルクリエイターコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2860 (104) 単位時間/単位	1720 (66) 単位時間 /単位	0 (0) 単位時間 /単位	3 (0) 単位時間/ 単位	0 (0) 単位時間 /単位	1137 (38) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		20 人	0 人	7 人	6 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ＜授業方法及び内容＞ Web 業界で活躍できる Web デザイナーを目指す。デザインに関する知識、動画編集に関する知識・技術、デジタルコンテンツや Web システム開発に関するプログラミング技術と資格取得を行う。 ＜授業計画＞ （１）１２月末までに次年度カリキュラム案を完成 （２）２月までに次年度カリキュラムを確定 （３）４月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 （４）５月末までに授業計画書をホームページに掲載	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 （１）成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の５段階とし「可」以上を合格とする。 （２）成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 （３）科目の出席率が 85%未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。	
学修支援等	
（概要） （１）各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 （２）専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 （３）実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (50%)	1 人 (50%)
（主な就職、業界等） 製作スタッフ職、技術職			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験 エキスパート 8 名 Photoshop クリエイター能力認定試験 エキスパート 6 名 Web クリエイター能力認定試験 エキスパート 1 名 色彩検定 3 級 7 名 Excel 表計算処理技能検定 1 級 2 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 登録販売者コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1917 (70) 単位時間/単位	1539(58) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間 /単位	3(0) 単位時間/ 単位	0(0) 単位時間 /単位	375(12) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
80 人		10 人	0 人	9 人	3 人		12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ＜授業方法及び内容＞ ドラッグストア、調剤薬局での登録販売者を目指す。登録販売者試験を中心に、医薬品や販売に関する知識と資格取得を行う。 ＜授業計画＞ （１）１２月末までに次年度カリキュラム案を完成 （２）２月までに次年度カリキュラムを確定 （３）４月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 （４）５月末までに授業計画書をホームページに掲載
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 （１）成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の５段階とし「可」以上を合格とする。 （２）成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 （３）科目の出席率が８５％未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。
学修支援等
（概要） （１）各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 （２）専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 （３）実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 総合職、医療事務			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 登録販売者試験 2 名 薬学検定 2 級 2 名 食の薬学検定 1 級 2 名、2 級 2 名 リテールマーケティング 3 級 1 名 インバウンド接客外国語検定（中国語） 小売 4 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 医療事務&メディカルスタッフコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1831 (67)	1291 (50) 単位時間 /単位	0 (0) 単位時間 /単位	3 (0) 単位時間/ 単位	0 (0) 単位時間 /単位	537 (17) 単位時間 /単位
		単位時間/単位	単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
80 人		8 人	0 人	9 人	1 人		10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ＜授業方法及び内容＞ 病院、クリニック等での医療事務、医師事務作業補助を目指す。診療報酬の算定、レセプトの作成、接遇等に関するの知識と資格取得を行う。 ＜授業計画＞ （１）１２月末までに次年度カリキュラム案を完成 （２）２月までに次年度カリキュラムを確定 （３）４月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 （４）５月末までに授業計画書をホームページに掲載
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 （１）成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の５段階とし「可」以上を合格とする。 （２）成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 （３）科目の出席率が８５％未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。
学修支援等
（概要） （１）各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 （２）専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 （３）実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 医療事務、調剤事務			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務技能審査試験 医科 5名 医療事務作業補助者検定試験 4名 医事コンピュータ技能検定試験 2級 5名 電子カルテ実技検定試験 5名 診療報酬請求事務能力認定試験 医科 2名 調剤事務管理士技能認定試験 8名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 オフィス・サービスコース ホテル・ブライダル専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	884 (31) 単位時間/単位	586(22) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間 /単位	5(0) 単位時間/ 単位	0(0) 単位時間 /単位	293(9) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		4 人	0 人	6 人	3 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ＜授業方法及び内容＞ ホテルスタッフ・レストランサービススタッフ、ウエディングプランナー、ドレスコーディネーター等を目指す。ホテル業務、ブライダル業に関する知識、料飲サービス、プランニング、外国語に関する実技と資格取得を行う。 ＜授業計画＞ （１）１２月末までに次年度カリキュラム案を完成 （２）２月までに次年度カリキュラムを確定 （３）４月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 （４）５月末までに授業計画書をホームページに掲載
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 （１）成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の５段階とし「可」以上を合格とする。 （２）成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 （３）科目の出席率が８５％未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。
学修支援等
（概要） （１）各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 （２）専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 （３）実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 営業職、エステティシャン			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ウエディングプランナー認定試験 ４名 ホテル実務技能認定試験 上級 ３名、 初級 ５名 インバウンド接客外国語検定（中国語） 宿泊 ５名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 単位未取得		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 オフィス・サービスコース 販売営業専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1801 (67) 単位時間/単位	1443(51) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間 /単位	3(0) 単位時間/ 単位	0(0) 単位時間 /単位	355(16) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		4人	0人	8人	4人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ＜授業方法及び内容＞ 企業の営業補助や販売員の就職を目指す。パソコンスキル、簿記、販売知識、コンピュータ知識や情報セキュリティ、ビジネスマナー等に関する知識と資格取得を行う。 ＜授業計画＞ （１）１２月末までに次年度カリキュラム案を完成 （２）２月までに次年度カリキュラムを確定 （３）４月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 （４）５月末までに授業計画書をホームページに掲載
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 （１）成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の５段階とし「可」以上を合格とする。 （２）成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 （３）科目の出席率が８５％未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。
学修支援等
（概要） （１）各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 （２）専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 （３）実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (78%)	2 人 (22%)
（主な就職、業界等） 総合職、営業職			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為に企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 秘書検定試験 ２級 １名、３級 ４名 マナー・プロトコール検定 ３級 ９名 ビジネス文書技能検定試験 ２級 ２名、３級 ８名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1 人	6.7%
（中途退学の主な理由） 病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業分野		工業専門課程	総合ビジネス学科 オフィス・サービスコース 総務事務専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	858 (31) 単位時間/単位	599(20) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間 /単位	3(0) 単位時間/ 単位	0(0) 単位時間 /単位	256(11) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
80 人		2 人	0 人	5 人	1 人		6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ＜授業方法及び内容＞ 企業の総務・経理の就職を目指す。パソコンスキル、簿記、販売知識、コンピュータ知識や情報セキュリティ、ビジネスマナー等に関する知識と資格取得を行う。 ＜授業計画＞ (1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成 (2) 2月までに次年度カリキュラムを確定 (3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 (4) 5月末までに授業計画書をホームページに掲載	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 (1) 成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の5段階とし「可」以上を合格とする。 (2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 (3) 科目の出席率が85%未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。	
学修支援等	
（概要） (1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 (2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 (3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (-%)	0 人 (-%)
（主な就職、業界等） 総合職、一般事務職			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業分野		商業実務専門課程	公務員学科 2年生コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2106 (93) 単位時間/単位	1734(17) 単位時間 /単位	0(0) 単位時間 /単位	7(0) 単位時間/ 単位	0(0) 単位時間 /単位	365(76) 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
20人		14人	0人	6人	5人		11人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ＜授業方法及び内容＞ 国家・地方公務員試験に出題される教養試験、面接・作文対策を主とした授業。2年間でじっくりと学ぶ。その他、社会人として必要なビジネスマナー、会計業務、書類作成に必要なPCスキルを習得する。 ＜授業計画＞ (1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成 (2) 2月までに次年度カリキュラムを確定 (3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 (4) 5月末までに授業計画書をホームページに掲載
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。 (1) 成績の評価は、「秀・優・良・可・不可」の5段階とし「可」以上を合格とする。 (2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 (3) 科目の出席率が85%未満の場合、点数に関わらず「不可」とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各修業年限・学科において、進級・卒業に必要な単位数以上を取得した者は卒業することができる。
学修支援等
（概要） (1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 (2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 (3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 国家公務員、地方公務員			
（就職指導内容） （１）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （２）業界・職種研究の為に企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公務員試験合格 ４名 ビジネス実務マナー検定 ３級 １０名 Excel 表計算処理技能検定 ２級 １名、３級 ９名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	3 人	17.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更 病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） （１）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （２）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （３）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
高度 I T 学科	150,000 円	600,000 円	330,000 円	その他：教育充実費
I T エキスパート学科	150,000 円	600,000 円	330,000 円	その他：教育充実費
I T ・デザイン学科	150,000 円	600,000 円	330,000 円	その他：教育充実費
総合ビジネス学科	150,000 円	600,000 円	330,000 円	その他：教育充実費
公務員学科	150,000 円	600,000 円	330,000 円	その他：教育充実費
修学支援（任意記載事項）				
2025年度生より 330,000 円。 2024年度生まで 300,000 円。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページに掲載 https://net-skk.co.jp/inforelease/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
第三者評価未実施により、学校関係者評価をもって代替えをする。 学校が行った自己評価の結果を学校関係者評価委員に報告し、意見をいただき、その意見をもとに教育活動及び学校運営に活用することを基本方針とする。 評価項目は、自己評価、学生数状況、就職状況、離職状況等。 学校関係者評価委員は、本校と関わりのある業界関連企業、本校卒業生にて構成する。 評価の活用にあたっては、責任者である校長の指揮のもと、各部署責任者が方法・期間等を検討し、次年度の学校運営及び教育内容の改善に反映する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
企業経営者（I T 系）	2023. 4. 1～ 2027. 3. 31	企業等委員
企業経営者（医療・福祉系）	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	企業等委員
企業経営者（販売系）	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	企業等委員
企業経営者（サービス系）	2023. 4. 1～ 2027. 3. 31	企業等委員
企業経営者（サービス系）	2023. 4. 1～ 2027. 3. 31	企業等委員
弘前市議会議員	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	企業等委員
S . K . K . 情報ビジネス専門学校 同窓会会長	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	卒業生
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページに掲載 https://net-skk.co.jp/inforelease/		

(備考)
2025年度、第三者評価未実施の為、自己点検評価を代替えとする。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
本校ホームページに掲載 https://net-skk.co.jp/